

令和3年9月10日～

# 「拡散型体外衝撃波治療機器」を 導入しました



## 適応疾患

- ・ 足底腱膜炎
- ・ アキレス腱障害
- ・ ジャンパー膝
- ・ オスグッドシュラッター病
- ・ テニス肘
- ・ ゴルフ肘
- ・ 石灰沈着性腱板炎
- ・ 肩インピンジメント症候群

etc

○近年、体外衝撃波治療は、運動器疾患に対する物理療法の一つとして、特にスポーツ障害治療の分野で盛んに用いられ、その効果が注目されつつあります。

○スポーツ障害治療の分野では、適応疾患に対する除痛効果や組織修復促進効果に加え、コンディショニングへの活用が期待されています。

○体外衝撃波治療は、圧縮空気が発生させた圧縮波を患部に連続して照射します。多少痛みを伴いますが、痛すぎない程度から使用して徐々に出力を上げていきます。治療時間は15分程度です。

○治療は医師の指示のもとリハビリ時間内に行います。

○運動器疾患だけでなく、瘻性治療にも用いられています。